

市民が創る 福祉プロジェクト 活動報告書2015

地域福祉
アクションプログラム
action!
推進協議会



平成28年3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会

ひとり一役運動

ひとり一役運動とは地域の方のちょっとした困りごとの解決のため、お手伝いできる人に登録してもらい、人と人をつなぐことで地域福祉活動の推進を目指しています。

これまで、様々なニーズに応えることができるよう、地域福祉活動の支援に努めてきました。

設立から毎年依頼していただいている団体や今年度新たに依頼していただく団体もあり、少しずつですが活動が広がっているのではないかと感じております。今後も一人ひとりが「できること」で参加し、多彩な人々に呼びかけて、様々な方の活躍できる場・活動への支援を行っていきたいと考えております。



自分が役に立つことを生きがいや、喜びに感じられるように。

当日は出店の手伝いを行いました。



ロービジョン サポートフェア
in 芦屋

ロービジョンサポートフェアとは…
目の見えづらい方・見えない方向への
役立つ情報や便利な道具等を
紹介するイベントです。

当日は会場までの案内を行いました。



わがまちベンチプロジェクト

2015年度は、前年度にも設置させていただいた海洋町海岸通り沿いに2つ目のベンチを設置させていただきました。そして、芦屋市霊園敷地内の休憩所に設置するベンチのお話をいただき、晴れた日には芦屋市も一望できる見晴らしの良い休憩所にベンチを設置できました。ベンチの左上には、ベンチプロジェクトのプレートも貼ってあります。よろしければ、お墓参りや散策がてらに、利用いただければ嬉しいです。

これまでに設置しましたベンチも多くの皆さまにご利用いただけており、地域の皆さまの憩いの場となり、人と人をつなぐツールとして役立てていただいています。

今後も、引き続きこれまでと同様に「つながり」のツールとして「ベンチの里親」になってくださる自治会、町内会団体、組織のみなさまがいらっしゃいましたら、積極的に支援させていただきたいと考えています。



- | | |
|------------------|-----------------|
| ①奥池集会所1台 | ②芦屋霊園2台 |
| ③ペDESTリアンデッキ1台 | ④「憩いの広場」JR芦屋駅2台 |
| ⑤茶屋之町さくら通り沿い歩道1台 | ⑥芦屋市役所2台 |
| ⑦「まごのて」打出商店街1台 | ⑧保健福祉センター2台 |
| ⑨浜風町バス停1台 | ⑩海洋町海岸通り沿い2台 |

キラッとプロジェクト

2015年3月22日、阪神淡路大震災から20周年を迎えた年に、「いのちまもるあしや」と称した減災リーフレットを1万部印刷して、配布してきましたが、「全然足りないやん!」という予測していなかったありがたい事態が発生し、増刷することになりました。

そして、2015年度には、このリーフレットを延べ16,451人の方にお届けすることができました。

市内の保育所、小学校、中学校を始め、あちこちの防災訓練やイベント等、それにいくつかの自治会のみなさんの手から手へ、10センチ四方に折りたたまれた小さなリーフレットは、さまざまにお役に立てていただいていることと思っています。

「災害から命を守る行動をとることは、高齢者も子どもも障がいのある人もない人も、だれにも必要なこと」の共通認識から始まったこのキラッとプロジェクトですが、次に誕生する「キラッと」を考える中で、このところ、高齢者人口の増加にともない、自分の人生を振り返り、家族に伝えておきたいことを書き記す「エンディングノート」が活用されていることを耳にするね…と話題になりました。

これを人生の諸先輩方だけの備えにしないで、私たちにも「いつ何が起ころうとでもどん!と構えられる準備」が必要ではないか。できれば、父や母、夫や妻、息子、娘、友人等の大切な人に「自分の人生」について、「私ノート」と称して、自分の歩んできた道をたどりながら、自分の考え、思い、願い、そして、好きな花、映画や本のこと、苦手なこと、嫌いなことを書き記しておくことができるツールが必要ではないかとの思いから「手のひらに乗る自分史(私ノート)」をキラッとプロジェクトの次の取組として、みなさんにお届けしたいと思っています。

市民のみなさん!

2016年度は私たちと一緒に「私ノート」の素敵なネーミングづくりから始めませんか?



市民が市民のために、市民が楽しめる情報紙

情報紙「あしやわがまち通信」は市民が作成に関わり、行政と共に「市民が知りたい情報は何か」「どう表現するとわかりやすいか」を考えながら作ってきました。

2015年度は定年を迎えてからの男性が地域に入り込めないという意見から「地域デビュー」をテーマに第4号を発行しました。インタビューを引き受けてくださった方々の考えや活動について掲載しております。読んでくださった方の地域デビューのきっかけとなればと思います。また、認知症の方やご家族の方、地域の方がゆっくりできるカフェのご紹介もしておりますので、ぜひご利用ください。



また、第5号では地域の大きな課題となっている「認知症」をテーマとして取り上げました。住み慣れた地域で暮らしていくためには「どのような支援が必要になるのか」また「どのような介護保険サービスがあるのか」、「認知症の方との関わり方」について事例も含めて企画しました。

全ての認知症の方やご家族の問題が解決するものではありませんが、認知症の方が少しでも暮らしやすい地域になればと思っています。

誰にとっても暮らしやすい地域はそれぞれが活躍し、支え合える地域であることが大切だと感じ、2016年度発行予定の第6号では第4号のつづきとなる「地域デビュー」を再度テーマに取り上げ、活動を行っている方々の体験談やみなさんの活躍していただける活動についての掲載を企画しております。

多くの方にご覧いただければ幸いです。

～各プロジェクトメンバーによるコメント(敬称略)～

- 上野 義治(ひとり役)…………… 住みたいまちに「住んでいる者」は、少しでも自分の「持ち味」を活かして、地域貢献を果たしましょう。
- 三谷 百香(ひとり役)…………… みんなでつくった桜の木が、次につながる大きなネットワークになることを願います。
- 若林 益郎(情報紙)…………… わがまち通信、情報の伝える事の難しさを感じています。皆さんの力が必要です。情報紙のメンバーはいつも募集しています!
- 本郷 孝(情報紙)…………… テーマを決めるための話し合いが私にとって有意義な時間です
- 船橋 久郎(情報紙)…………… 人と人のつながりが地域を躍動させていることを実感しました。
- 佐瀬 美恵子(情報紙)…………… 市民の求めている情報は何か。事務局と共に知恵を出し合って紙面づくりをしています。たくさんの方に読んでもらえるとうれしいですね。
- 柴沼 元(情報紙)…………… 地域のみなさんの絆を強くしたいと思っています。
- 木村 和子(情報紙)…………… 楽しい話を聞いて、紙面を飾ることができたらうれしいです。微力ですが、市民の皆様のお役に立てばとがんばります。
- 目黒 清子…………… 28年度も「地道にコツコツ」をモットーに笑顔で終われるよう頑張ります。
(キラッと/わがまちベンチプロジェクト)
- 杉田 俱子…………… リーフレットは役に立ったかしら..保存食を買い物リストに入れてくださったかな..
(キラッと/わがまちベンチプロジェクト) 次の「キラッと」も期待に応えたい!
- 竹迫 留利子…………… 今年度から事務局として会議録や庶務(会計)も担当しました。28年度もがんばります!
(キラッと/わがまちベンチプロジェクト)
- 細井 洋海…………… 28年度もみなさんとともにベンチを増やし、ひとりでも多くの方に「キラッと」情報をお届けしたいと思っています。
(キラッと/ベンチプロジェクト)
- 浅野 理恵子(情報紙)…………… 様々なアイデア・人・イベントに触れられるのが、活動の魅力です。
- 宮本 ちさと…………… アクションの活動をとおして出会った方々やアイデアを大切に、今年もいろいろなにチャレンジします。
(キラッと/ベンチプロジェクト)
- 片岡 睦美(情報紙)…………… 見やすい・読みやすい・わかりやすいものの作成に今後も努めます。

地域福祉課

地域福祉アクションプログラム

■ 報告書の作成にあたって

平成24年3月に策定された第2次芦屋市地域福祉計画の推進期間も残り1年となりました。

計画が策定されて以降、公民協働の活動・事業のプロジェクトとして様々な活動を行ってまいりましたが、残り1年となった今、計画に基づいて地域福祉アクションプログラム推進協議会の取組を見直し、検証するときであると認識しています。

今年度は、昨年度設立した「キラッとプロジェクト」より発行された「いのちまもるあしや～減災リーフレット～」を広くみなさんに配布し、「市民が創る福祉プロジェクト展」や「保健福祉フェア」などイベントを活用して、積極的に私たちの活動のアピールを行ってまいりました。

また、「ひとり一役運動」については、「支援を求める人や団体」と「既存の団体やボランティア・グループ」などを結びつける「コーディネート・マッチング機能」を行っていく上で、今後は関係機関や民間組織と連携を図り、協働を進めていかなければならないと感じております。

次年度は市民から求められている「ニーズ」の抽出と情報やサービスを提供できる「シーズ」を持っている団体への支援など、地域が抱えている課題を解決するために必要な視点を持ちながら、第3次芦屋市地域福祉計画につながるよう取り組んでまいりたいと思っております。

2016年 3月

地域福祉アクションプログラム推進協議会 会長 上野 義治

2015年度 活動の軌跡 ※月に1回 各プロジェクトの活動内容を共有

地域福祉アクションプログラム推進協議会

月に1回各プロジェクトの活動内容の共有

2015年	4月24日	平成27年度の活動計画・各プロジェクト取組計画の共有
	6月12日	平成26年度活動報告書の発行
	7月25日	第6回あしや保健福祉フェア「地域福祉アクションアワード」～わたしのまちが一番!～
	10月24日	茶屋秋まつりへの参加
2016年	3月13日	第5回市民が創る福祉プロジェクト展「認知症にやさしいわがまち芦屋をめざして」
	3月31日	平成27年度の活動・予算確認

ひとり一役

※情報紙・ベンチプロジェクトの支援

2015年	8月28日	みどり地域生活支援センター 夏祭り運営支援
	12月 5日	「マンションと防災安全セミナー」チラシの配布支援
	12月 6日	ロービジョンサポートフェア in 芦屋 開催支援

情報紙

2015年	7月23日	第4号発行「男性の地域デビュー」
2016年	1月25日	第5号発行「認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために」

ベンチプロジェクト

2015年	4月14日	海洋町海岸通り沿い 1台設置
2016年	3月29日	芦屋霊園内 2台設置

第6回 あしや保健福祉フェア

あなたのまちの活動を表彰します！ 地域福祉アクションアワード ～わたしのまちが1番～

平成27年7月25日第6回あしや保健福祉フェアが開催されました。

今回は第2次芦屋市地域福祉計画を推進する目標のひとつである「人と人とのつながりを広げます」を取り上げ、身近な地域や社会参加などつながりを広げ、お互いに気にかけてあって困りごとを発見したり、支え合える関係づくりを進めるため、地域で積極的に活動されている4つの団体等に活動について発表していただき、表彰を行いました。

- ★ 伊勢町自治会 さりげない見守り
…あいさつで笑顔の花が咲くで賞
- ★ 芦屋パークマンション 住民同士のつながりをつくる
…かぐわしいカフェの香りがみんなをつなぐで賞
- ★ ラ・ヴェールⅢシニア共助会 誰でも参加できる活動
…シニアの元気を地域に広げま賞
- ★ 芦屋ハイタウン 住民相互のコミュニティの形成
…震災乗り越えみんなで創る未来は輝いているで賞

第5回 市民が創る福祉プロジェクト展

認知症にやさしいわがまち芦屋をめざして！

平成28年3月13日に第5回市民が創る福祉プロジェクト展を開催しました。

今回は「認知症にやさしいわがまち芦屋をめざして」をテーマに認知症の予防についての講話や脳トレを行い、楽しい雰囲気の中で認知症についての理解を深めました。

また、認知症の方やご家族を支える手が増えることを祈り、来場してくださった方の手をお借りして、手形を花にした桜の木が満開となりました。

この催しや桜の木を通して、認知症になっても住み慣れた地域で暮らすことができるよう支える手が増えることを願い、地域福祉の推進に取り組みます。



●お問い合わせ

芦屋市 福祉部 地域福祉課

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7-6

TEL 0797-31-2121 FAX 0797-38-2160

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>